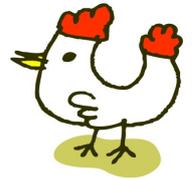


バリ通信

梅雨明けビールがぶ飲み号



1807号

バリ通信は
過去に

(有)FORZA
愛媛日産自動車(株) 勤務時代
公益社団法人 今治青年会議所
今治商工会議所青年部

を通じて面識のある大切な方にお送りしております。

ビール問題を考える！
人は一生にどれくらいのビールを飲むのか？

ある日『バリ通信のネタ何にしようかな？』ってボヤいていたら、酒こそ我が人生であり、我が人生こそ酒が全てとまでは言わないが、かなりのウェイトをよめる友人O君（47歳・全く女子ウケしない車乗り継ぐ男）に、『俺って一生でどれだけビール飲んでるんやろ？調べてみんけん』と言われたので、今回のテーマが決まったのである。（ちなみに私は一滴も飲めません）

個人の量ではないが、2017年に『日本酒造組合中央会』が発表した日本人の飲酒動向調査によると、1988年に調べた『飲酒率』の推移は、2017年では男性が70.7%↓50.6%に大幅下落、女性は31.6%↓32.9%で微増となっており、全体では50.6%↓42.7%に減ってるらしい。自分の周りでは95%位の人が飲んでるイメージなんやけど（笑）、でもよく見たら『飲めるが殆ど飲まない』という人が男性17%↓30%、女性21%↓40%と大幅に増えているみたいですね。

で、本題であるが夏も冬も変わらず、まずはビールから夕食を始めるO君のような人間は果たして一生にどの程度のビールの量を飲むのであろう？ 考え出したら気になって気になって仕方な

いのである。たしかだいたい以前にそのような記載がある記事を読んだ記憶がかすかにあって、O君と一緒に調べ直してみたのであった。

「あなたもこれで簡単に金持ちになれる」的なコラムや「モテる男はここがポイント」的なコラムも一応ネタの為にクリックしてみたが、勿論飲酒の量についてなど掲載されていないし、あまりに下らない内容っぽいので1分も読まずに別のページへ移動したのである。

その中でムムツ、某作家の本の事が触れてあるではないか！一緒に居合わせたS君（46歳・子沢山の絶倫男）いわく、その作家も名うての酒飲みなので、彼の本で読んだかも？という事で、その本の内容を調べたところありましたね。ありました！いわゆる平均的な人間が18歳くらいでビールを飲み始めたと仮定する。（お酒は20歳からなので18歳で飲んではいけないのであるが原文のママ）まあ量は多い時もあるし少ない時もあるわけだが70代くらいまで一日にビール大瓶2本程度を飲んだとする。（そんなに飲めるんか??）かなり飲む人の部類だと思うが、このような状態で生涯に渡って飲んだ量の総量はなんと25メートルプール1杯程度らしい。

これを読んでO君の感想は、なんだ！そんな程度なの？って思ったらいいのであるが、人によってはすごい量と思う人もいるかもしれない。

〇君的にはなんとなく生涯に飲む量だから東京ドーム何杯分とかその程度はいくと思っただけらしいが、なんだ！その程度なのか？と思っただけらしく、『うゝむ。我がビール人生はたかだか25メートルプール1杯分程度しかないのであるうか！虚しい、あまりに虚しすぎる。俺の人生は25メートルプール一杯程度のものであったのか！せめて、せめて25メートルプール一杯分+家庭用ビールプール3杯分程度は飲んでから死にたい！』と叫んでいた・・・その差の意味が分からん(笑)

これで決まりだな、キャンプやBBQで虫を寄せない方法

そうなのだよ。今まで色々な虫を寄せ付けない方法を実験してきた。蚊取り線香をメーカー別に実験したり、あるいは蚊が来ないというスマホアプリを複数導入して実験してみたり(正確には実験をした暇な人のコラムを読んだだけです)、本通信を長く読んでいる人なら過去の涙ぐましい努力を覚えている方もいると思う。

しかしながら過去、色々な実験を繰り返した中でどうもこれが決定的だ。というような実験結果が得られなかったのも事実である。しかしながら今年の本通信はちよつと違うのである。この方法でうつとおしい蚊や蛾などやその他のうつとおしい虫が寄ってくるのをかなりの確率で避けることが出来る方法をついに見つけたのであった！

これからの季節、キャンプだ！バーベキューだ！と屋外での活動が多くなる中で本通信を読んで実践した人はヒーローになれるのである。あなたもこれでヒーローだあ！ということと早速ながらその方法の解説を行うのである。

事の発端はレッド電球などには虫は寄って来にくいという情報を掴んだところにあった。さてこれは本当なのだろうか？ということでも色々な文献を調べてみたのである。文献と書くと大層な調べ方をしたように感じるかもしれないが実際はネットで検索してみただけなのである。実際に実験したような記録はないのか？調べてみたのである。そうしたらなんとまたしても暇な人間がいたのである。

LED電球の蛍光灯色とLED電球の電球色、つまり普通の蛍光灯や裸電球と同じ色のLEDと蛍光灯と裸電球、さらに正確さを期すために蛍光灯は天井などにあるものよりワンサイズ小さい10W相当、電球は60W相当で明るさに差が出にくい状態で実験したようである。結果はこれがすごい。白熱電球と蛍光灯に虫がワサワサ集まってきたようだがLEDには殆ど虫が集まっていなかったということである。ということとはだ。ここからがすごいところなのであるが、キャンプやバーベキューで魔法のように虫を集めず彼女や家族の尊敬を受けるためにはだ。これを応用してさらに確実を期すわけである。

つまり蛍光灯タイプの電池式ランタン(ホームセンターなどで安く売っている)これを少し離れたところに置いて、敢えてそこに虫を集めながら、近いところはLEDタイプのランタンを使うわけである。虫を遠くに集めながら近いところは来ないようにするという2段対策を取って、どうだあ！これでまいったかあ！などと威張り散らしてみるのである。

昔、この方法を当時通っていた大学の実験室で習ったのである。などと口からでまかせを言っても、10人に2人くらいは信じる人も出るのではないだろうか？今年の夏はこれでヒーローになるのである。

*虫がいっぱい集まった方のランタンを回収するのは誰がやるんだ？とかは突っ込まないで下さい。